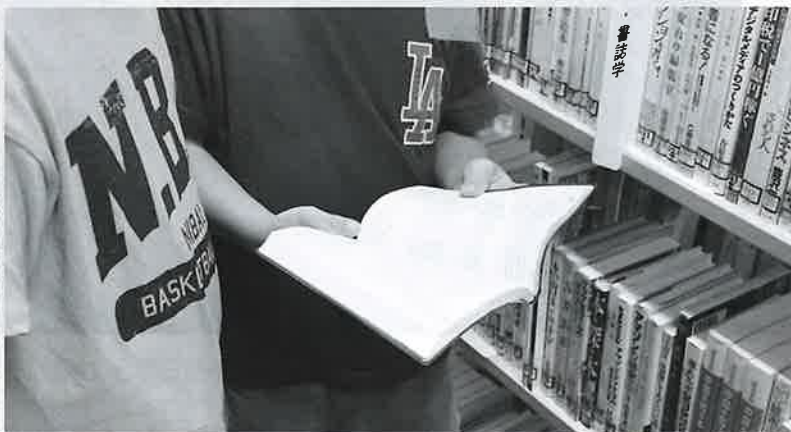


活動ダイアリー

Let's go!



最近道路に栗のイガをよく見かけようになり、秋めいてきましたね。通年読書は楽しめるものですが、なぜ「秋は読書」というイメージが定着したのか理由をそういえば知らないと感じ、この文章を書く途中に調べてみました。一説では中国の漢詩が由来で、その漢詩が夏目漱石の小説「三四郎」で引用され一般に広まったというのがよく言われている説です。もったいない図書館の蔵書の「三四郎」を協力隊おすすめ本棚に配置していますので、気になった方はぜひ本の中からその詩を探してみたいはいかがでしょうか。

10月ですが「読書週間」もあることから、本のイベントをいくつか開催予定です。上の写真はヒガシダテ待合室のイベント「古着カフェ」内でのワークショップの内容の試作品です。「古着カフェ」は10月5日(日)～8日(水)に開催されます。10月後半もイベントを準備中ですので、最新情報はInstagramをご覧ください。過ごしやすくなったこの時期に、様々な形で本をぜひ楽しんでください!

こんにちは、読書のまちづくり担当の眞野です。8月のイベントではお世話になりました!告知がぎりぎりだったせいで、「その日はもう予定が…」「イベントあったの知らなかった!」という保護者の声が多く、大反省…。ですが、「面白そうだから次は行くね!」や、当日来てくださった方に「面白かった」と言ってもらえてとてもうれしかったです!冬休みに第2回を企画中です、その際はぜひ!

そして9月は活動報告会がありました。任期も半分を終えたということで、資料を作成しながら、読書のまちづくりミッションとしてどんな活動をしていくべきか、そして任期が終わったあとも継続可能な取り組みは?関わることの多い子どもたちにとって有意義な読書活動とは何なのか、そして課題解決能力の向上に必要なことは?を改めて考えることが出来ました。資料作成の際の振り返りや気づきを、これからの活動にいかしていきたいと思います。

島山青 欽 Seiho Hatakeyama

読書の町づくり担当



東京都清瀬市出身。前職は絵本の製本屋に勤務。甘いものとコーヒーとお茶が好きです。割とよく食べます。



Check!

Instagram

眞野夏 凜 Karin Mano

読書の町づくり担当



青森県むつ市出身。短大卒業後、地域おこし協力隊に着任。読書、音楽を聴くのが好き。最近は backnumber ばかり。



Instagram



Facebook

Check!

